



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年1月27日 No.277

「2021年度 新幹線総合車両センター業務計画等について」 1月27日に新幹線統括本部より団体交渉で提案を受ける

▽定期検査工事計画

(1) 車種別検査両数

車種：6系式+2形式 全般検査合計：532両 台車検査合計：530両 総合計：1062両

(2) 台車検査・全般検査周期の変更

2021年2月15日以降、全般検査を施行した車両より順次適用する。(E5系、E6系、E7系)

▽主な改造工事

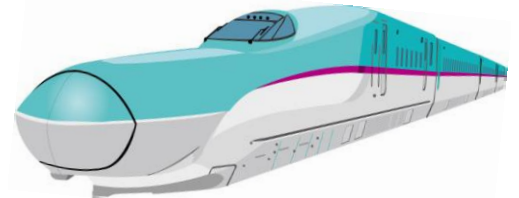
(1) 防犯カメラ画像の地上送信工事 (E2系、E3系、E5系、E6系、E7系) / 206両

(2) 荷物置場増設工事 (E5系、E6系、E7系) / 240両

▽車両計画

(1) 投入計画 E5系 10両、E7系 120両

(2) 廃車計画 E2系 40両、E4系 96両



▽一部業務運営体制の見直し（実施期日 2021年6月1日）

社員の成長と効率的な業務運営のため、輸送管理科の軌道技術Gと駅派出Gを統合する。

スケジュール

2020年度			2021年度		
1月	2月	3月	4月	5月	6月
▼ 提案	→			★	実施
		教育、準備等			

▽変更後の標準数

新幹線総合車両センター／車両職：標準数 331（増減+2）

▽実施期日 2021年4月1日

主な議論内容

○新幹線電車の「台車検査・全般検査の周期延伸」に伴う要員への影響はあるのか。

→必要な要員は検査を行う車両数の予定から算出している。なお、台車検査・全般検査周期延伸の完了には概ね4～5年程度かかると考えている。

○一部業務体制の見直しの目的は何か。

→1人の社員が「今月は機動、来月は駅派出」など柔軟な運用のための統合であり、駅派出を廃止するわけではない。統合に際しては輸送管理科の一部業務も移管する。関係社員に必要な教育を行い、機動技術G・駅派出G・輸送管理科の一部業務をそれぞれ相互に体験する。現状、駅派出2日勤、機動4徹1日勤を、統合により4徹2日勤とする。